

- 問一 ① 刑事罰 ② 連鎖 ③ 一律 ④ 師範 ⑤ 犠牲
⑥ 洞察 ⑦ うじこ ⑧ わく ⑨ さいむ ⑩ 廃絶

問二 a オ b エ c イ d ウ e ア

問三 (1) ウ (2) エ (3) エ (4) ア (5) ウ

問四 (1) 2 (2) 6 (3) れ、た (4) 音便 語った 種類 ウ

問五 宮沢賢治 カ 新美南吉 エ 芥川龍之介 コ

問六 同じ人間として、他人の悲しみや喜びを想像し共感する感受性

問七 ウ

問八 自分で考え、自分の心から湧き出る感情に忠実であること

問九 (1) 個人こそが、社会を作っていく主体であり核となる
(2) 社会はある力学を持って動き、個人の人生を巻き込む。

問十 オ

問十一 集団としての人間関係が、一方的関係でなく相互の関係都市捉えられている

問十二 オ

問十三 ア、ウ、エ、オ

出題の意図

- 問一 文脈に応じた漢字の書き取りと読みを問う。
- 問二 文脈に沿って、合致する適切な接続詞を選ぶ力を問う。
- 問三 文脈に沿って、各設問の語句の意味や内容の説明を正しく理解しているかを問う。
- 問四 基本的な国文法に関する知識として、品詞の種類や音便の基本を問う。
- 問五 国語常識において、宮沢賢治などのよく知られた作家とその代表作の対応関係を理解しているかを問う。
- 問六 文脈に沿って、「ともに生きる社会人としての感情」を定められた字数の中でまとめる力を問う。
- 問七 文脈を押さえて、選択肢の語句の意味内容を理解し、本文に合致するかを的確に判断する力を問う。
- 問八 文脈を押さえて、「その社会が残した精神の遺産」を定められた字数の中でまとめる力を問う。
- 問九 文脈を押さえて、「個人と社会が切り離せないものであること」についての筆者の指摘を読み取り、(1)「個人」と(2)「社会」の各側面から、定められた字数の中でまとめる力を問う。
- 問十 文脈を押さえて、「そこに参加すること」についての筆者の主張の要点を理解しているかを問う。
- 問十一 文脈を押さえて、「社会とは一体何だろうか」について、筆者が「社会」に関する考察の中心に位置づけている内容を読み取り、定められた字数の中でまとめる力を問う。
- 問十二 本文の内容を正確に把握した上で、選択肢の記述の内容を理解し、本文に合致するかを的確に判断する力を問う。
- 問十三 本文に対する若者の感想として示された文章を読んで、その感想の要点を理解し、本文の筆者の主張と合致するかを的確に判断する力を問う。